

証 S・A

聖書箇所：新約聖書 1 ページマタイによる福音書 7 章 7 節

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

私はこの学校に入学するまで「キリスト教」というものに深く触れることはありませんでした。ですが私は、この学校に入学する前にも何度か目に見えない神様に向かって神頼みをする時がありました。「どうせ神頼みをしていても現実には変わらない、結果は変わることがない」と思っていたとしても、どこかで心の支えになっていたのかもしれない。

私が幼い頃、いつも一緒にいた身近な人が突然いなくなってしまう、そんな経験をしました。最初は「嘘だ、絶対にまた会える」と思っていたのですが、日が経つにつれて現実を受け入れざるを得ない状況となりました。幼いながらにどうしていなくなったのか、私が悪い子だったからではないかと自分を責める日が続きました。その時、私はこのような状況にした神様を恨みながらも、「もう一度会わせてほしい。」という願いを何度もお願いしていました。もしかしたら、こうして何度も神様をお願いしていたら本当に叶うかもしれない、という期待を持っていました。ですがやはり、私が願ったことが叶うことはありませんでした。叶わないと気付いた日から神頼みをしていても無駄かもしれないと思うようになりました。

そんな時、学校生活の中で「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」という聖句に出会いました。確かに私が神様に願っていた大切な人との再会は与えられることはありませんでしたが、その代わりに求め続けることでまた会えるかもしれないという希望が与えられていたことに気づかされました。それによって、自分の気持ちを良い方向へと導いてくれたと感じることができ、神頼みは無駄なことではなかったと思うことができました。

これからの人生の中で、また困難な壁にぶつかったとき希望が与えられ、心の支えとなるように祈り続けていきたいと思えます。